

06.18

THU
2026

16:35 – 18:05 5 限

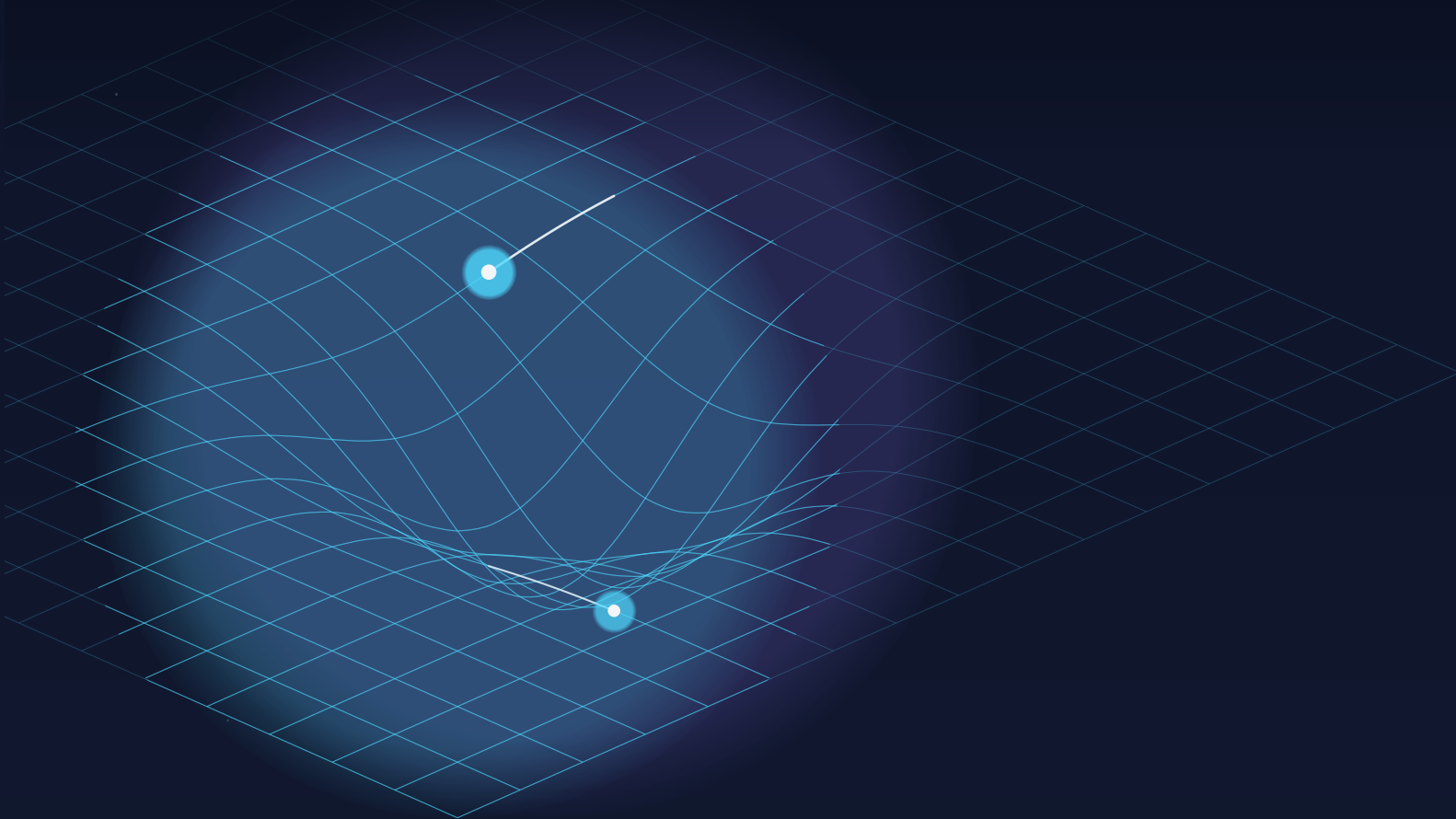
東京女子大学 6 号館 6112 教室

物理を専門としない方も歓迎・入退室自由

一般確率論～ 古典・量子論の基礎付けから 量子情報理論への応用まで～

GENERAL PROBABILISTIC THEORIES —FROM FOUNDATIONS OF CLASSICAL AND
QUANTUM THEORY TO APPLICATIONS IN QUANTUM INFORMATION THEORY

OPEN TO ALL



SPEAKER

荒井駿

HAYATO ARAI

NTT コミュニケーション科学基礎研究
所基礎論グループ

ABSTRACT 概要

一般確率論は、物理系に対する操作に関する基本的な公理に基づき、古典論と量子論の双方の数学的に拡張した枠組みである。一般確率論は、量子基礎や量子情報の数理の文脈で近年盛んに研究されており、古典論や量子論の数理モデルを操作的に特徴づけることを主題としている。それに加えて、近年では量子情報理論への応用に向けた取り組みも行われている。本発表では、前半に一般確率論の概要や重要な結果を簡単に紹介し、具体的なモデルを用いて数学的枠組みを説明する。次に最近の私の研究、「間主観性を用いた物理量と非古典性の特徴付け」「一般確率論と量子論への定量的接続」について簡単に紹介する。

量子基礎

間主観性

非古典性

物理量

